

。 どうして人が集まる？ 農コミュニティ

銀河ステーション135

現地レポート



神戸近郊の農コミュニティ
「銀河ステーション135」の2021年の
田植えには、全国から135人もの
人が参加したんだとか。すご〜い！

今月のテーマ

お金でもルールでもなく

心でつながる



森井さん

地元民ではない「森井さん」は
ひよんなことから農地を借りて、
自然栽培できれいに土地を管理した所、
地元の人から ④ 集落の農地を任せると
期待されるまでになりました。



料理番長かなちゃん

テーブル 1つで みんなが 集まる



ケーキ名人
さわちゃん

ここでは畑仕事をして
もいいし、ただのんびりしても
大丈夫。それぞれの「好き」を
尊重するスタイルが人気の
理由かもしれない ⑤



天才ママ
しずさん

かなちゃんの
気遣い脱せりしめた

★メンバー募集中★

「母なる地球を守ろう研究所」

略して「ははラボ」は、現在 理事の
ひろし、もりぞう、まあむの3人で
で活動中！ まずはfacebookを
のぞいてみてね。

follow us



研究員
もりぞう

いっしょに
農作業する
食卓を囲む。
人と人が共に
暮らすには
こういうことが
大切だね。



所長
ひろし

農コミュニティは
可能性④だね！
わたしも
広げたいわ！！



研究員まあむ
※ 銀河ステーションの
活動にも参加中

そよ風に吹かれ
ながら食べる
おにぎり、そして
楽しいおしゃべりは
幸せを感じます。

農コミュニティとしての「銀河ステーション 135」

銀河ステーション 135 は、森井俊文さんが始めた東経 135 度の兵庫県神戸市西区にある農コミュニティです。地元民でもない森井さんが、2012 年から縁があつて神出（かんで）集落で田んぼを借りて無農薬無肥料の稲作を始めました。それが継続して、2021 年の田植えには延べ 135 人が集まりました。



めっこうファーム



みんなで楽しく「無農薬・無肥料でお米作り」



[Toshifumi Mori | Facebook より](#)

場所：兵庫県神戸市西区神出町

（東経 135 度 子午線が雌岡山（上の方）の神出神社を通っています）

募集方法：ウェブサイト、facebook に告知し、主に口コミで集まってきます。穫れたお米は翌年の 2 月には完売します。

2021 年のお田植祭に参加して

伊丹ルリ子（理事）

私も 2021 年 6 月 12 日、13 日の森井さんの「お田植祭」に参加しました。豊作を祈願して御神事から始まりました。参加者は子ども連れ家族も多数あり、若者が多数でした。

ここの特徴は、「幸せ体験」だと思います。都会を離れ、田んぼで田植えをし、お昼は採れたての野菜カレーとサラダをいただきました。料理長の女性は、引きこもっていた時に料理を極めたそうです。今はこの会の優秀なリーダーの一人です。田植えで疲れた後は、野菜カレーをみなさま幸せそうに食べておられました。おいしい旬の野菜にめずらしいドレッシングや美味な添え物。そしてその場で焙煎するコーヒーの味は格別でした。米粉ケーキはオーガニックビーガンでした。梅ジュースは 30 年モノ（おばあちゃんが作られたそうです）で、茶色で深い味わいがありました。カレーは食べ放題で、みなさま何度もおかわりをされ、茅葺の小屋で至福のひと時を楽しまれました。外で梅林を見ながら食べられるご家族もありました。食後は外でイスを輪に並べ、お茶を飲みながらのおしゃべりになりました。初参加の私にイスをもってきてくれた若者もいて、私も輪の中に入って幸せいっぱい気分になりました。ほら貝が出てきて輪ができあがり、誰が上手に吹くか競っていました。

午後 4 時に解散となりましたが、その後もたまり場となり、小屋を建てて住むとか相談もしていました。お金がなくても、みんなで米や野菜をつくり、調理して、みんなで分けて食べる。この安心な幸せを味わってみませんか？ 自然農のお野菜を食べていると健康な身体になることでしょう。その楽しさや豊かさが、危険な都会を忘れさせる一日となりました。気持ちが落ち込んでしまった人は、ここに来られたらよいですね。

森井さんのいつも言われている言葉は、「好きなことを好きな時に好きなだけする。嫌なことはしない。」です。これをスローガンとした自主管理によるルールのない社会を目指されています。

<森井さんが出身でもない集落の農地をどうして借りてこのような活動ができるようになったのか、時系列でお話をお聞きしました>

2012年12月 ふと神出を訪れた時、喫茶店のマスターに「農業はしたことが無いけれど、環境を守るために無農薬無肥料でしたいのです。自然農の農業者はこの地におられませんか？」とお尋ねしたところ「いますよ。」と伊丹さんを紹介して下さいました。

2013年4月 地元集落のリーダーに、「自然農の稲作をしたい」と相談したところ、田をお借りできました（12アール）。

私は、何もかもが初めての経験で、田の草取りが楽しくて毎日感謝がわいてきて、稲の花のかわいさに見とれていました。それを見て村の人たちは「何をしてるの？」と言いました。私は「これは、どういう力が働いてこうなるのか、どんなプログラムがあるのか？」と思って見とれています。」と言いました。イセヒカリの特殊性を知って米作りがおもしろくなりました。妻は野菜作りを始めました。オクラ、トマト、ナス、スイカ、トウモロコシ、キクイモなどが、はじめての畑で良く出来ました。

その後、水利組合も農業委員もされている地元の方が、私の新規就農の申請をしてあげましようと言ってくださって、私は農家になることができました。

2014年 田んぼと畑を合わせて3枚増やしましたが、村の端の方の変形したところで耕作放棄されていたところでした。ツル植物が畦を覆いつくして大変でした。見兼ねた集落の人が「それではかわいそうだから中央部に2反の長方形の田を貸してあげましよう。」と声かけして下さいました。

2015年 神出神社のある雌岡山（めっこうさん）の麓の田をお借りできました。高台で海を臨み眺望が良いのですが、水が出ないところもありました。合計52アール増加。田んぼも畑も、農業委員会を通して正式に貸し借りの契約をしました。

2020年 畑28アールを新たにお借りしました。

2021年 15アールの田を新たにお借りしました。合計で137アールになりました。

今後ですが、「ここは、10年後には後継者がいないため限界集落になるだろう。そこ

で、森井グループに 10 年後には、全域 30 ヘクタール (3 千アール) をやってもらうことにしよう。」と話が進んでいるとのこと。

<設備>

2013 年 一輪車とクワ、鎌のみで始める

2014 年 小型コンバインをいただく

2021 年まで、レンタルトラクター以外はほとんどいただきものです。

軽トラック (中古) : 1 台、2 条刈りコンバイン (中古) : 1 台、

マット式 4 条田植機 (中古) : 1 台、ポット苗式 4 条田植機 (中古) : 1 台、

ポット苗式 2 条 歩行型田植機 (中古) : 1 台、

ポット苗用播種機 (中古) : 1 台、

脱穀機 (ハーベスター) (中古) : 2 台、バインダー (中古) : 1 台、

草刈機 (ハンディータイプ) : 2 台、草刈機 (背負いタイプ) : 1 台、

草刈機 (自走式・スパイダーモア) : 2 台

<作付け銘柄>

イセヒカリ、ハッピーヒル、緑米 (もち種古代米)、キヌムスメ、ササシグレ、

農林 48 号、朝日

銀河ステーション 135 の理念

一人ひとりの「好きなこと」「得意なこと」「情熱に感じること」「他の喜びが最高の喜びと
感じること」を一枚の美しい絵画のように融合させた開放型自給自足空間を大自然の摂理の
もとに創造して行きませんか

「好きなことを 好きな時に 好きなだけする」

子どもの様に瞬間瞬間を澆刺と謳歌していきましょう

新しい地球のステージが始まります

(ウェブサイト : <https://135community.wixsite.com/space135>)